



預託・放牧前に必要な条件を確認してください

近年、預託先で伝染性疾病に感染し、自農場で感染が拡大するといった事例が報告されています。預託先の放牧場等では事前に、ヨーネ病、牛伝染性リンパ腫（EBL）、牛ウイルス性下痢（BVD）等の検査が必要な場合がありますので、上牧前に預託先に確認してください。また、各種検査ごとに必要な検査材料が異なることがあります。以下の表を参考にしてください。また、採材する獣医師等へ間違いの無いようお伝えください。

* 検査には結果が出るまでに数週間かかるものがあります。お近くの家畜保健衛生所に確認し、余裕をもって牛の移動をしましょう。

疾病名	必要な検査材料	検査方法
ヨーネ病	血清（6カ月齢以上）	抗体検査
	糞便（6カ月齢未満）	遺伝子検査
EBL	血清	抗体検査
	全血 [※EDTA○ ヘパリン×]	遺伝子検査
BVD	血清	抗原検査
ピロプラズマ	全血 [EDTA○ ヘパリン×]	血液学検査等

※血液抗凝固剤の種類

牛の移動前後にできる対策をしましょう

- ・導入牛も含め、預託・放牧から自農場へ戻った牛については、**経過観察**をしましょう。できれば一定期間の**隔離飼育**を行い、必要に応じて各種疾病の**検査**をしましょう。
- ・放牧牛については事前に**放牧馴致**することで環境変化のストレスが軽減され、移動先での疾病への感染リスクが低減します。移動の1か月前くらいから、青草の給与、一時的な野外環境での飼育、群れへの適応をするようにしましょう。
- ・必要に応じて**ワクチン接種**をしましょう。
 （一部の放牧場にはワクチン接種が上牧条件になっている場合があります）
- ・不明な点は、お近くの家畜保健衛生所にお問い合わせください。

サルモネラ
マイコプラズマ
にも注意!!

家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	飯田	0265-53-0439	長野	026-226-0923
伊那	0265-72-2782	松本	0263-47-3223	県庁園芸畜産課	026-235-7232